

～自動パッキングラインによる商品の高品質化及び輸出量の拡大～ 株式会社津久勝（茨城県神栖市）

背景・課題

銚子・波崎地区で水揚げされるサバの多くは、アフリカ諸国等向けに輸出されていたが、近年需要の高まりを見せており、輸出量の拡大が見込まれているものの、一度に大量の水揚げがあるため、地域の加工処理能力が追い付かず生産量が限られている。
加えて輸出先国の衛生基準が上がり、日本産サバの衛生面や品質についてクレームが生じている。

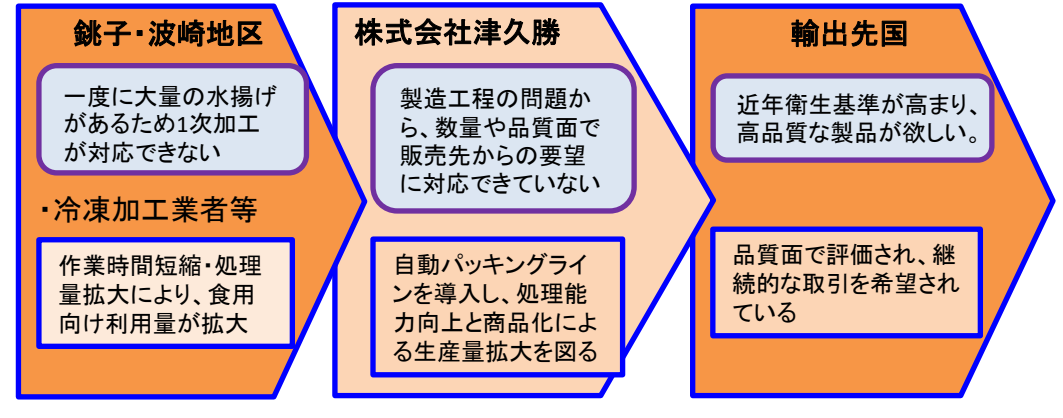
取組のポイント

自動パッキングラインを導入し、水揚げから販売までの作業効率向上や、衛生・品質面の改善に取り組む。
また、加工能力の向上に取組むことで食用向け原料の取扱い量増加や販路の拡大を図る。
作業時間の短縮を図ることで、魚体の温度上昇による品質劣化を防ぐとともに、販売先からのフィードバックによる商品開発を行う。

取組の成果

- ・機器導入による作業時間の短縮に成功し、処理能力が増加するとともに労働環境も改善。
- ・自動パッキングラインを整備したことで4～5人程度の省人化に成功。
- ・コロナウイルス感染拡大の影響によりコンテナの確保が難しくなったものの、カナダやベトナムからの引き合いは強く、継続的な取引が期待できる。
- ・アフリカへの輸出は原料魚や運賃の高騰により難しい状況だが、継続的に商談等を行い販路開拓に取り組む。

プロジェクトフロー



自動パッキングライン

